

マウント用両面・片面粘着シート

E-338RC

ID: 40VM33100

特徴

- 基材に透明ポリエステルフィルムを使用した高透明マウント用両面粘着シートです
- ウィンドー（内貼り）、パーテーション掲示用途に適しています
- 画像面や裏面を補強し、掲示の利便性を高めます
- 寸法安定性に優れています
- 被着体面側に微粘着剤を使用しているため、剥離が容易に行えます

用途

屋内用

規格

1,250mm × 30m巻

製品構成

剥離材	剥離フィルム／ポリエステルフィルム
粘着剤（画像面）	アクリル系粘着剤／強粘着
芯材	ポリエステルフィルム 25μm／透明
粘着剤（被着体面）	アクリル系粘着剤／微粘着
剥離材	剥離フィルム／ポリエステルフィルム

重量：152g/m²（剥離フィルムを含む）

特性値

試験項目	単位	実測値		被着体	試験方法
		画像面	被着体面		
貼付 30 分後 粘着力	N/25mm	11.5	1.9	ステンレス	リンテック法
貼付 24 時間後粘着力	N/25mm	19.3	2.6	ステンレス	リンテック法
貼付 30 分後 粘着力	N/25mm	12.5	1.7	ガラス	リンテック法
貼付 24 時間後粘着力	N/25mm	16.8	2.0	ガラス	リンテック法
ボールタック	No.	14	3	—	J.Dow 法
保持力	秒	NC 30000	NC 30000	ステンレス	リンテック法



リンテック法

粘着力試験方法：試験機 ロードセル型引張試験機、剥離角度 180°
 試験環境 23℃ 50%RH、剥離速度 300 mm/min
 貼付圧力 2 kgのゴムローラーで 1 往復
 被着体：ステンレス板 (SUS304 #360 番研磨仕上げ)
 保持力試験方法：角度 0°、試験環境 40℃、貼付面積 25 mm × 25 mm、
 貼付圧 2kg のゴムローラーで 5 往復、静止荷重 9.8N
 被着体：ステンレス板 (SUS304 #360 番研磨仕上げ)
 各特性値の前にアルファベット 1 文字もしくは 2 文字で表記されている用語
 B：基材破壊 Cf：凝集破壊 At：界面破壊 Zip：ジッピング NC：ずれなし

フィルム特性

項目		単位	実測値
破断強度	MD	N/25mm	112
	CD	N/25mm	138
破断伸度	MD	%	122
	CD	%	120

光学特性

項目	単位	実測値
紫外線透過率	%	77.9
可視光線透過率	%	90.4

使用例

被着体 (ガラス)

E-338RC

平滑な印字面

糊なしメディア (PET、合成紙等)

*紙などの吸湿しやすい糊なしメディアとの組み合わせは浮きやはがれなどの原因となりますのでご注意ください

ご注意

- 本資料に記載されている数値等は、弊社の試験結果に基づくものであり、保証するものではありません。実際の用途に適合した事前の検証をお願いします。
- 購入後は 1 年以内に使用してください。開封後はなるべく早めにご使用ください。
- この製品は両面粘着シートです。画像面側の粘着剤は強粘着製品のため、再剥離性能はありません。
- 画像面側の粘着剤とインクの密着については事前のテストにてご確認ください。インクについては各プリンタメーカー、もしくはインクメーカーにお問い合わせください。
- 屋内用フィルムなので屋外ではお使用にならないでください。
- 突合せや同一面で使用される場合は、同ロットをご使用ください。
- 特殊な用途にご使用の場合は、あらかじめご相談ください。

◇保管方法

- 保管される場合は、高温・低温・多湿を避け、必ず袋に入れて宙吊りにし、直射日光が当たらないように保管してください。
- 至近距離からの蛍光灯照射などは避けてください。
- 推奨環境：温度 10℃～30℃、湿度 70%RH 以下
 低温、高温条件下では、粘着力、保持力が低下しはがれやすくなります。



リンテック株式会社

●本社 〒173-0001 東京都板橋区本町 23-23

 お問い合わせは、建装材営業部 〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-2
 TEL. (03)3868-7733 FAX. (03)3868-7755
 E-mail: lag@post.lintec.co.jp

http://www.lintec.co.jp

- 水分、薬品などがつかないようにし、衝撃は避けてください。

◇加工について

- 画像面側の強粘着は内側、被着体面側が外側になるように巻かれていますので加工の際にはご注意ください。
- マウント加工時のテンション（ブレーキ）のかけすぎは、カールの原因となる恐れがあります。
- マウント加工時の圧着が不足しているとメディアとマウント用粘着フィルムの間に細かな空気が残り白化し、施工時のスキージー跡や施工後の膨れが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- マウント加工時にメディアの出力面に直接手で触れないようにしてください。油脂、油分、汚れ、傷などが品質低下の原因となる場合があります。
- プリント後、インクが十分に乾燥するまではマウント加工などの後加工を行わないでください。インクの乾燥時間については各プリンタメーカー、もしくはインクメーカーにお問い合わせください。
- 色味を重視される出力品の場合にはマウント加工後の変化をあらかじめご確認ください。

◇施工について

- 施工環境温度：10℃～40℃
高温下での施工は初期粘着力の上昇や、製品が軟化する場合があります。
- 使用可能温度：-30℃～80℃
- 水貼り施工には適しておりませんのでお避けください。
- 貼り付け直後は十分な接着力が得られない場合があります。
- 結露しやすい下地への施工は、十分な接着力が得られない場合があります。

被着体

	被着体	施工		被着体	施工
プラスチック	PP・PE・フッ素	※1	金属	亜鉛メッキ鉄板	○
	ABS	○		ボンデ鋼板	○
	PET	○		焼き付け塗装板	○
	FRP	○		アルミニウム	○
	アクリル樹脂	○		ステンレススチール	○
	ポリカーボネート	※2	その他	コンクリート	×
塩ビ	※3	モルタル		×	
テント地	×	スレート		×	
		ベニヤ板		×	
ガラス	一般	※4			
	網入り	※4			

- ※1 十分な粘着力が得られない場合があります。
- ※2 アウトガス発生のため、膨れが生じる場合がありますので事前にご相談ください。
- ※3 可塑剤、遊離成分などが含まれていますので浮き、はがれなどが生じる場合があります。
- ※4 全面貼りの場合、熱割れが発生する可能性があります。
- ※1～4は、条件によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

- * 製品についてご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
- * 本書は、本製品に関する製品情報及び環境安全に関わる情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- * 製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更させていただくことがあります。

